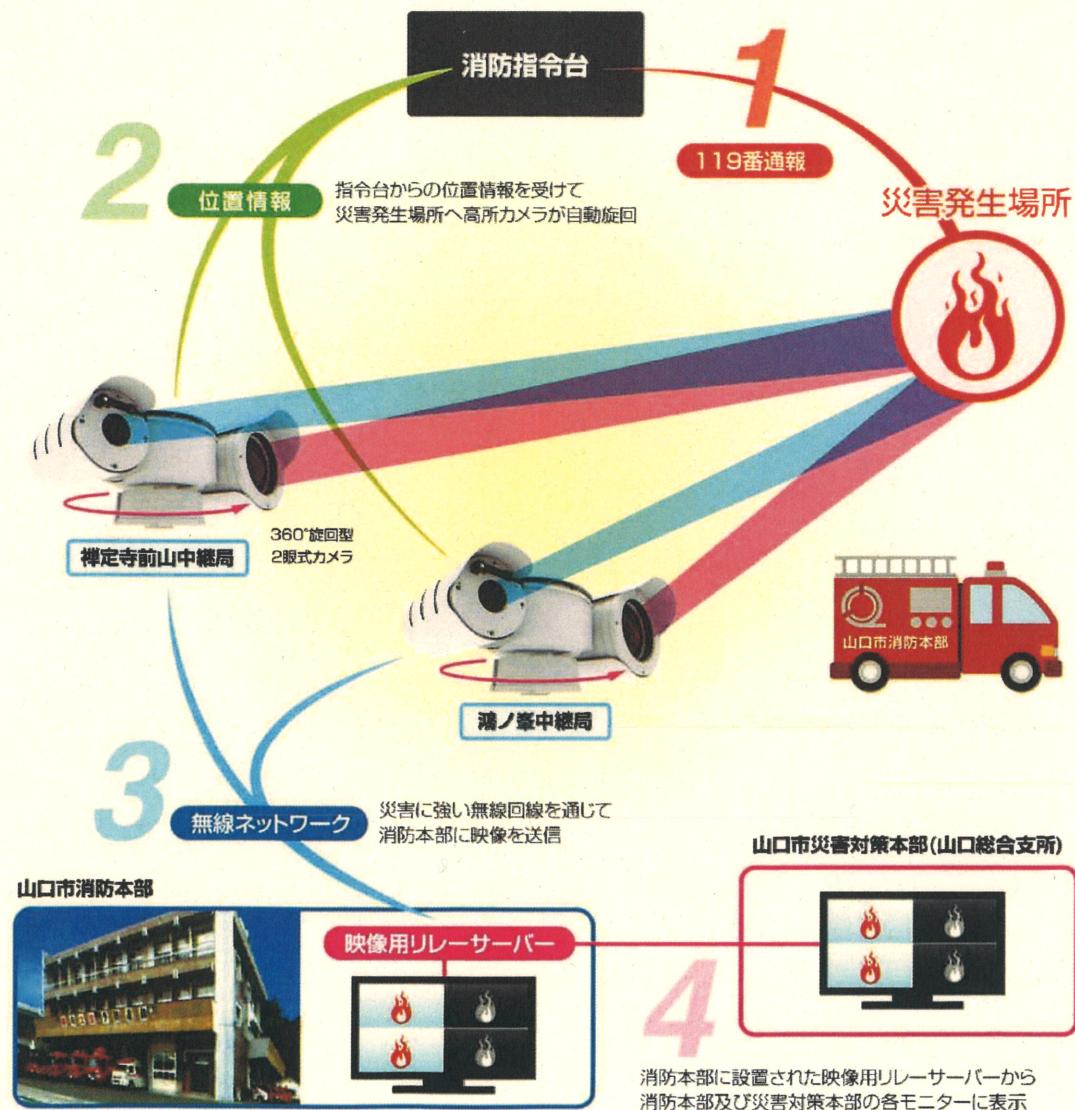


消防用高所監視装置の運用開始について

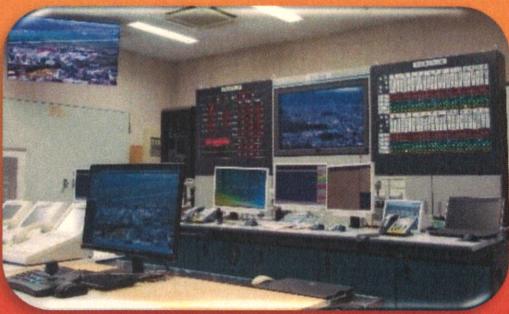
1 消防用高所監視装置の仕組み

今回新たに設置された「消防用高所監視装置」は災害発生時に119番通報を受けた際、高機能消防通信指令システムの位置情報と連動し2台の高所カメラ（禅定寺前山中継局及び鴻ノ峯中継局）が、瞬時に災害発生場所に向きます。

高所カメラからの映像は、無線ネットワークを経由し山口市消防本部に設置された映像用リレーサーバーに送信され、災害発生場所の状況を災害対策本部（山口総合支所）で確認することができます。



2 消防用高所監視装置視認範囲



通信指令課

2台の高所カメラの映像は、山口市消防本部内の「通信指令課」で確認することができます。
また、大規模な災害が発生した場合、消防本部を経由して災害発生場所の状況を「災害対策本部（山口総合支所）」でも確認することができます。

山口市内を一望できる「禪定寺前山中継局」と「鴻ノ峯中継局」に設置

2台の高所カメラが山口市中心部のほぼ全域を見渡すことができます。

鴻ノ峯中継局

中央消防署

大内出張所

徳地出張所

南消防署

阿知須出張所

秋穂出張所

禪定寺前山中継局

● 高所カメラ

● 消防拠点施設

● 視認範囲(半径約15km)

3 消防用高所監視装置の機能

360°旋回型 2眼式カメラについて



2つのカメラを搭載

光学 30 倍ズーム搭載の 200 万画素フル HD カラーカメラと物体から発せられる遠赤外線を捉える光学 4 倍ズーム搭載の HD サーマルカメラを搭載。一台のカメラで同時に 2 つの映像を映し出すことができます。



広範囲を見渡せる

死角ゼロを実現した 360° エンドレス 旋回機構と光学ズームレンズを合わせることで、全方位、最長約 15 km までの視認が可能です。



光がなくても見える

サーマルカメラは、夜の暗闇の中でも鮮明な画像を生成できます。深夜や停電等で光のない状態でも、状況確認が可能です。

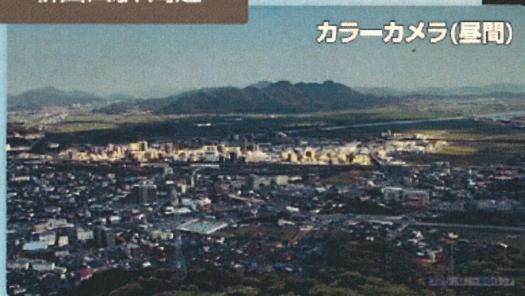


「熱源」を撮影

被写体から発せられる遠赤外線の強さに応じて明暗が分かれるため、カラーカメラではわからない熱源を見ることができます。

禅定寺前山中継局の映像

新山口駅周辺



カラーカメラ(昼間)

サーマルカメラ(昼間)



小郡JCT周辺



カラーカメラ(夜間)

サーマルカメラ(夜間)



鴻ノ峯中継局の映像

山口駅周辺



カラーカメラ(昼間)



湯田温泉周辺

サーマルカメラ(夜間)



カラーカメラ(夜間)

